



なかしん

景況レポート



2025年 春

No.161

中兵庫信用金庫

経営企画部

第 161 回 なかしん中小企業景気動向調査

(2025 年 3 月)

当金庫では、四半期ごとに景気の状況を知る一助として、お取引先のご協力により景気動向調査を実施しております。以下は、2025 年 3 月を調査時点とする 2024 年度第 4 四半期(2025 年 1 月～3 月)実績(3 月は予想)、及び 2025 年度第 1 四半期(2025 年 4 月～6 月)見通しについての調査結果です。

経営者の方々をはじめ、皆さまのご参考になれば幸いです。

調査時点	2025 年 3 月
調査対象	中兵庫信用金庫お取引先 [別表 1]
調査方法	聞き取り法
依頼先数	410 先
有効回答数	395 先 (回答率 96.3%)
その他	<p>この調査における景気判断の基準として、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index、略して DI、拡散指数という)による方法を採用しています。</p> <p>これは、生産・販売・在庫・収益等について前期に比較して、(A)増加(あるいは「上昇」)(B)変らず、(C)減少(あるいは「下降」)のいずれかに回答していただき、この(A)(B)(C)の回答割合(%)のうち(A)から(C)を差し引いた値(DI)を時系列的に観察することによって景況をみる方法です。</p>

[別表 1] 業種別構成

業種	依頼数	回答数
製造業	106	102
卸売業	36	35
小売業	95	90
サービス業	66	65
建設業	75	74
不動産業	32	29
合計	410	395

[調査地域]

丹波市・丹波篠山市・三田市
西脇市・多可郡・加東市
三木市・小野市
神戸市・西宮市北部
福知山市

連絡先 〒669-1321 三田市けやき台 1-4-3 ☎ 079-569-7153

中兵庫信用金庫 経営企画部 広報課

景気の状況について

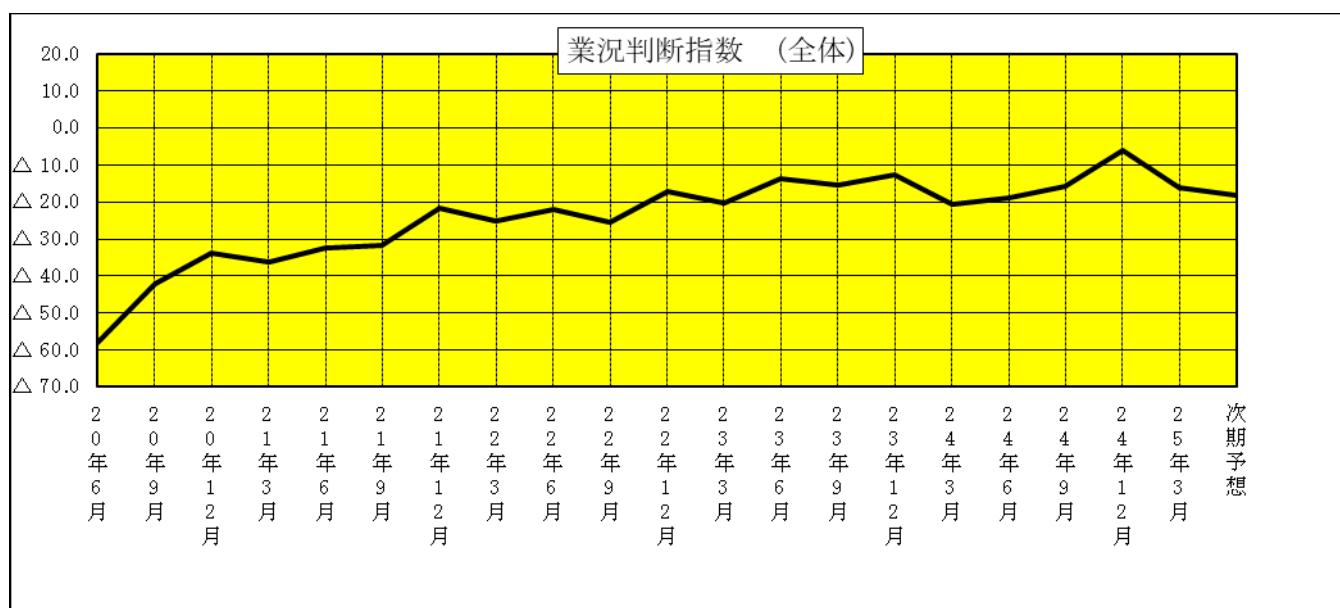
1. 総合的景況判断

業況の推移

調査時点	変動	良い A	普通 B	悪い C	D I (A-C)
2024年	1~3月	10.6	58.2	31.2	△ 20.6
2024年	4~6月	10.1	60.8	29.1	△ 19.0
2024年	7~9月	9.6	65.2	25.2	△ 15.6
2024年	10~12月	16.2	61.5	22.3	△ 6.1
2025年	1~3月	12.4	59.0	28.6	△ 16.2
見通し	4~6月	8.9	64.1	27.0	△ 18.1

業種別業況(2025年1月~3月)

業種	変動 A	普通 B	悪い C	D I (A-C)	次回予想		
					前回調査比	D I	今回調査比
製造業	10.8	53.9	35.3	△ 24.5	△ 27.4	△ 22.5	2.0
非製造業	13.0	60.7	26.3	△ 13.3	△ 4.0	△ 16.6	△ 3.3
(卸売業)	5.7	68.6	25.7	△ 20.0	△ 5.7	△ 25.7	△ 5.7
(小売業)	14.4	47.8	37.8	△ 23.4	△ 6.2	△ 19.1	4.3
(サービス業)	16.9	61.6	21.5	△ 4.6	△ 3.0	△ 18.8	△ 14.2
(建設業)	9.5	74.3	16.2	△ 6.7	△ 1.2	△ 9.6	△ 2.9
(不動産業)	17.2	55.2	27.6	△ 10.4	△ 6.8	△ 10.4	±0.0
全体	12.4	59.0	28.6	△ 16.2	△ 10.1	△ 18.1	△ 1.9



○今　期

今期（2025年1月～3月期）の景況をみると、業況D Iは前回調査比で10.1ポイント減少の△16.2と悪化した。

業種別でみると、製造業で27.4ポイント、卸売業で5.7ポイント、小売業で6.2ポイント、サービス業で3.0ポイント、建設業で1.2ポイント、不動産業で6.8ポイントと全ての業種にて減少し悪化した。

○次期予想

次期予想について、業況D Iは今回調査比で1.9ポイント減少の△18.1と悪化する見通しある。

業種別でみると、卸売業で5.7ポイント、サービス業で14.2ポイント、建設業で2.9ポイント減少し、製造業で2.0ポイント、小売業で4.3ポイント増加、不動産業は変化なしの見通しである。

業種別業況判断

① 製造業

業況DIは前回調査より27.4ポイント減少の△24.5、売上額DIは32.4ポイント減少の△21.7、収益DIは35.5ポイント減少の△28.7と全てにおいて悪化した。

次期予想では、業況DIは2.0ポイント増加の△22.5、売上額DIは13.7ポイント増加の△8.0、収益DIは14.8ポイント増加の△13.9と全てにおいて改善する見通しである。

主要DIの推移

年 月	'24年3月	'24年6月	'24年9月	'24年12月	'25年3月	前回調査比	次期予想	今回調査比
業況DI	△ 12.4	△ 22.3	△ 13.8	2.9	△ 24.5	△ 27.4	△ 22.5	2.0
売上額DI	△ 12.4	△ 15.5	△ 6.8	10.7	△ 21.7	△ 32.4	△ 8.0	13.7
収益DI	△ 16.2	△ 19.4	△ 10.8	6.8	△ 28.7	△ 35.5	△ 13.9	14.8

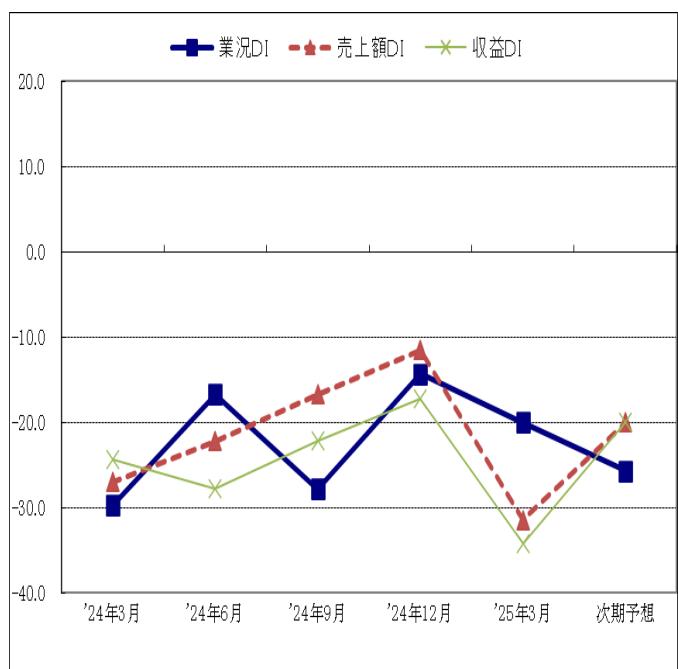
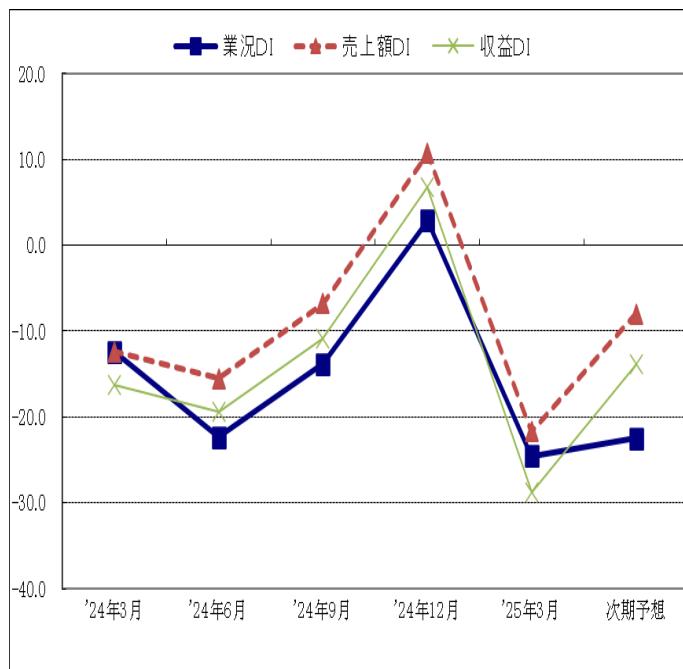
② 卸売業

業況DIは前回調査より5.7ポイント減少の△20.0、売上額DIは19.9ポイント減少の△31.4、収益DIは17.0ポイント減少の△34.2と全てにおいて悪化した。

次期予想では、業況DIは5.7ポイント減少の△25.7と悪化し、売上額DIは11.4ポイント増加の△20.0、収益DIは14.2ポイント増加の△20.0と改善する見通しである。

主要DIの推移

年 月	'24年3月	'24年6月	'24年9月	'24年12月	'25年3月	前回調査比	次期予想	今回調査比
業況DI	△ 29.7	△ 16.7	△ 27.8	△ 14.3	△ 20.0	△ 5.7	△ 25.7	△ 5.7
売上額DI	△ 27.0	△ 22.2	△ 16.7	△ 11.5	△ 31.4	△ 19.9	△ 20.0	11.4
収益DI	△ 24.3	△ 27.8	△ 22.2	△ 17.2	△ 34.2	△ 17.0	△ 20.0	14.2



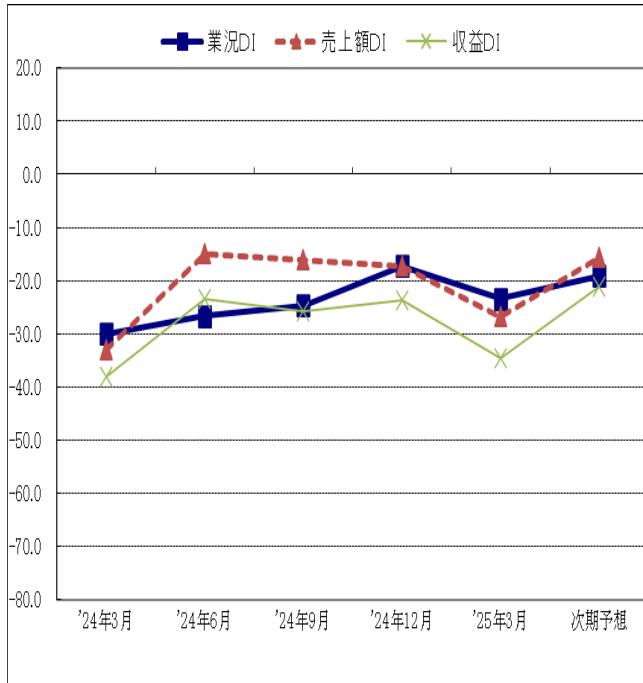
③ 小売業

業況DIは前回調査より6.2ポイント減少の△23.4、売上額DIは9.5ポイント減少の△26.7、収益DIは10.9ポイント減少の△34.5と全てにおいて悪化した。

次期予想では、業況DIは4.3ポイント増加の△19.1、売上額DIは11.1ポイント増加の△15.6、収益DIは13.4ポイント増加の△21.1と全てにおいて改善する見通しである。

主要DIの推移

年月	'24年3月	'24年6月	'24年9月	'24年12月	'25年3月	前回調査比	次期予想	今回調査比
業況DI	△30.0	△26.6	△24.7	△17.2	△23.4	△6.2	△19.1	4.3
売上額DI	△33.0	△14.9	△16.1	△17.2	△26.7	△9.5	△15.6	11.1
収益DI	△38.0	△23.4	△25.8	△23.6	△34.5	△10.9	△21.1	13.4



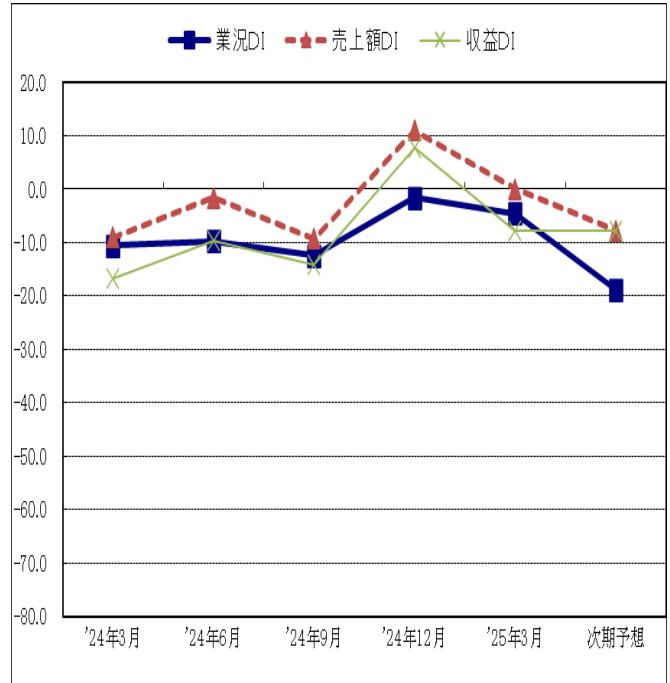
④ サービス業

業況DIは前回調査より3.0ポイント減少の△4.6、売上額DIは11.0ポイント減少の±0、収益DIは15.5ポイント減少の△7.7と全てにおいて悪化した。

次期予想では、業況DIは14.2ポイント減少の△18.8、売上額DIは7.7ポイント減少の△7.7と悪化し、収益DIは±0の△7.7と変わらない見通しである。

主要DIの推移

年月	'24年3月	'24年6月	'24年9月	'24年12月	'25年3月	前回調査比	次期予想	今回調査比
業況DI	△10.6	△9.7	△12.5	△1.6	△4.6	△3.0	△18.8	△14.2
売上額DI	△9.1	△1.6	△9.3	11.0	0.0	△11.0	△7.7	△7.7
収益DI	△16.7	△9.7	△14.1	7.8	△7.7	△15.5	△7.7	0.0



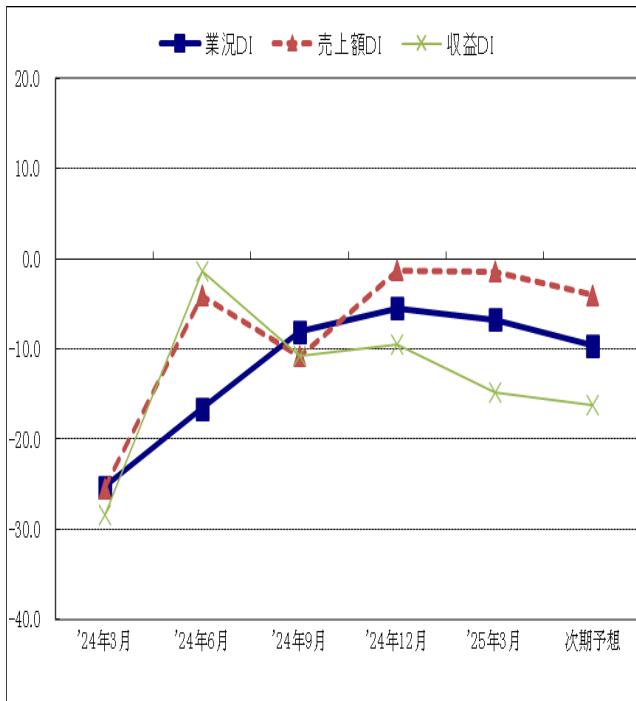
⑤ 建設業

業況DIは前回調査より1.2ポイント減少の△6.7、売上額DIは0.1ポイント減少の△1.4、収益DIは5.3ポイント減少の△14.8と全てにおいて悪化した。

次期予想では、業況DIは2.9ポイント減少の△9.6、売上額DIは2.6ポイント減少の△4.0、収益DIは1.4ポイント減少の△16.2と全てにおいて悪化する見通しである。

主要DIの推移

年月	'24年3月	'24年6月	'24年9月	'24年12月	'25年3月	前回調査比		次期予想	今回調査比
業況DI	△ 25.3	△ 16.6	△ 8.1	△ 5.5	△ 6.7	△ 1.2	△ 9.6	△ 2.9	
売上額DI	△ 25.4	△ 4.1	△ 10.8	△ 1.3	△ 1.4	△ 0.1	△ 4.0	△ 2.6	
収益DI	△ 28.4	△ 1.4	△ 10.8	△ 9.5	△ 14.8	△ 5.3	△ 16.2	△ 1.4	



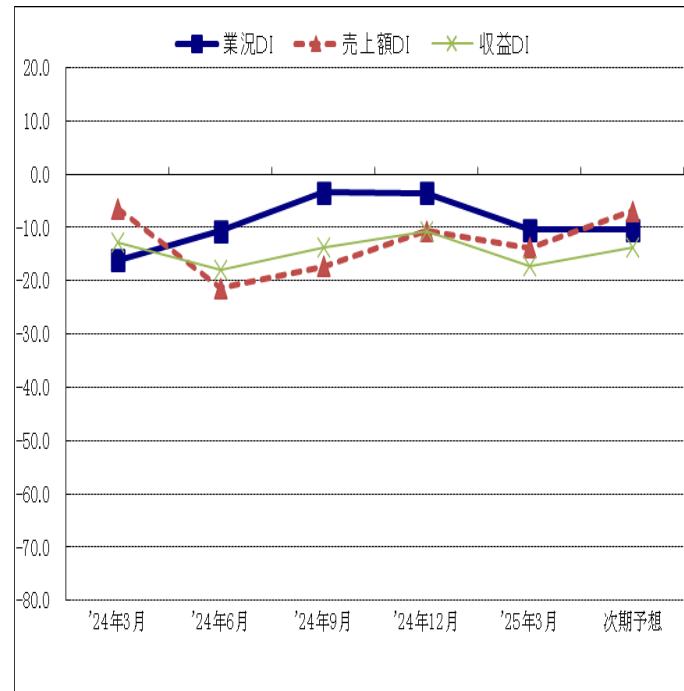
⑥ 不動産業

業況DIは前回調査より6.8ポイント減少の△10.4、売上額DIは3.1ポイント減少の△13.8、収益DIは6.5ポイント減少の△17.2と全てにおいて悪化した。

次期予想では、業況DIは±0の△10.4と変わらず、売上額DIは6.9ポイント増加の△6.9、収益DIは3.4ポイント増加の△13.8と改善する見通しである。

主要DIの推移

年月	'24年3月	'24年6月	'24年9月	'24年12月	'25年3月	前回調査比		次期予想	今回調査比
業況DI	△ 16.1	△ 10.7	△ 3.4	△ 3.6	△ 10.4	△ 6.8	△ 10.4	0.0	
売上額DI	△ 6.5	△ 21.4	△ 17.3	△ 10.7	△ 13.8	△ 3.1	△ 6.9	6.9	
収益DI	△ 12.9	△ 17.9	△ 13.8	△ 10.7	△ 17.2	△ 6.5	△ 13.8	3.4	



2. 売上状況

売上状況は、前回調査に比べ、「増加した」とする企業が 5.0 ポイント減少し、「減少した」とする企業は 9.3 ポイント増加したことから、D I は 14.3 ポイント減少の△15.8 と悪化した。

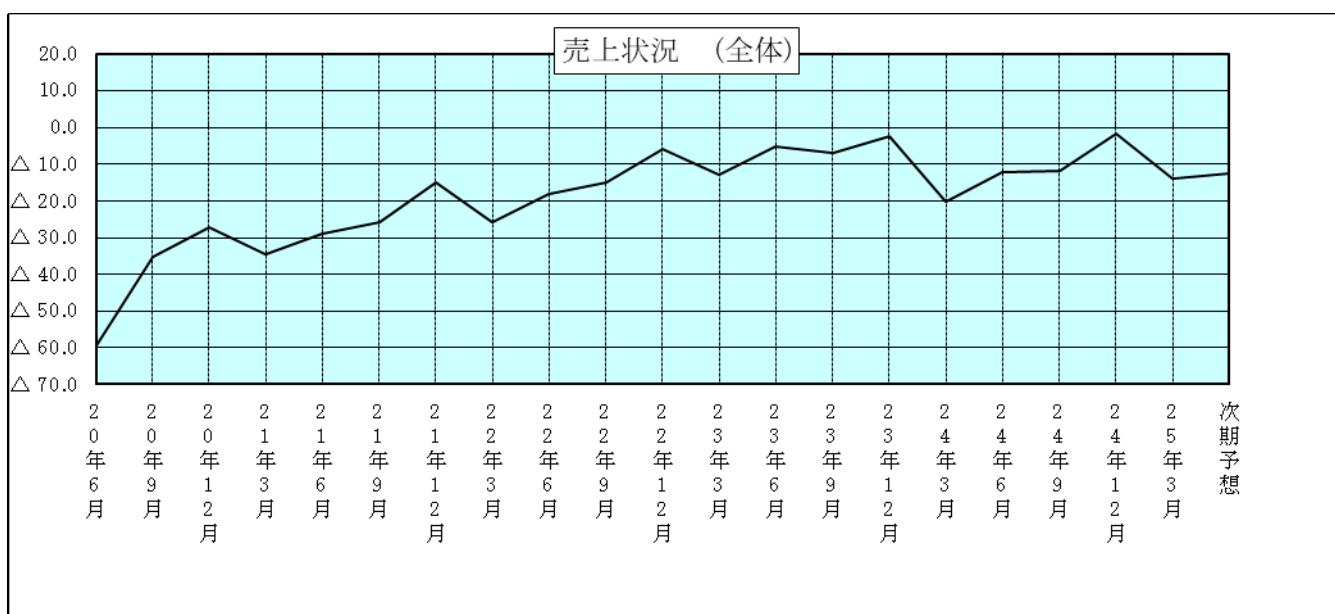
次回予想 D I は 5.9 ポイント増加の△9.9 と改善する見通しである。

売上状況の推移

調査時点	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)
2024年	1~3月	12.4	56.0	31.6	△ 19.2
2024年	4~6月	13.1	61.6	25.3	△ 12.2
2024年	7~9月	14.6	59.0	26.4	△ 11.8
2024年	10~12月	20.2	58.1	21.7	△ 1.5
2025年	1~3月	15.2	53.8	31.0	△ 15.8
前回調査比		△ 5.0	△ 4.3	9.3	△ 14.3
見通し	4~6月	13.5	63.1	23.4	△ 9.9
今回調査比		△ 1.7	9.3	△ 7.6	5.9

業種別売上状況(2025年1月~3月)

業種	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		14.9	48.5	36.6	△ 21.7	10.7	△ 8.0
卸売業		2.9	62.8	34.3	△ 31.4	△ 11.5	△ 20.0
小売業		14.4	44.5	41.1	△ 26.7	△ 17.2	△ 15.6
サービス業		26.2	47.6	26.2	0.0	11.0	△ 7.7
建設業		13.5	71.6	14.9	△ 1.4	△ 1.3	△ 4.0
不動産業		13.8	58.6	27.6	△ 13.8	△ 10.7	△ 6.9
全体		15.2	53.8	31.0	△ 15.8	△ 1.5	△ 9.9



3. 収益状況

収益状況は、前回調査に比べ、「増加した」とする企業は 6.0 ポイント減少し、「減少した」とする企業は 11.0 ポイント増加したことから、D I は 17.0 ポイント減少し△23.6 と悪化した。

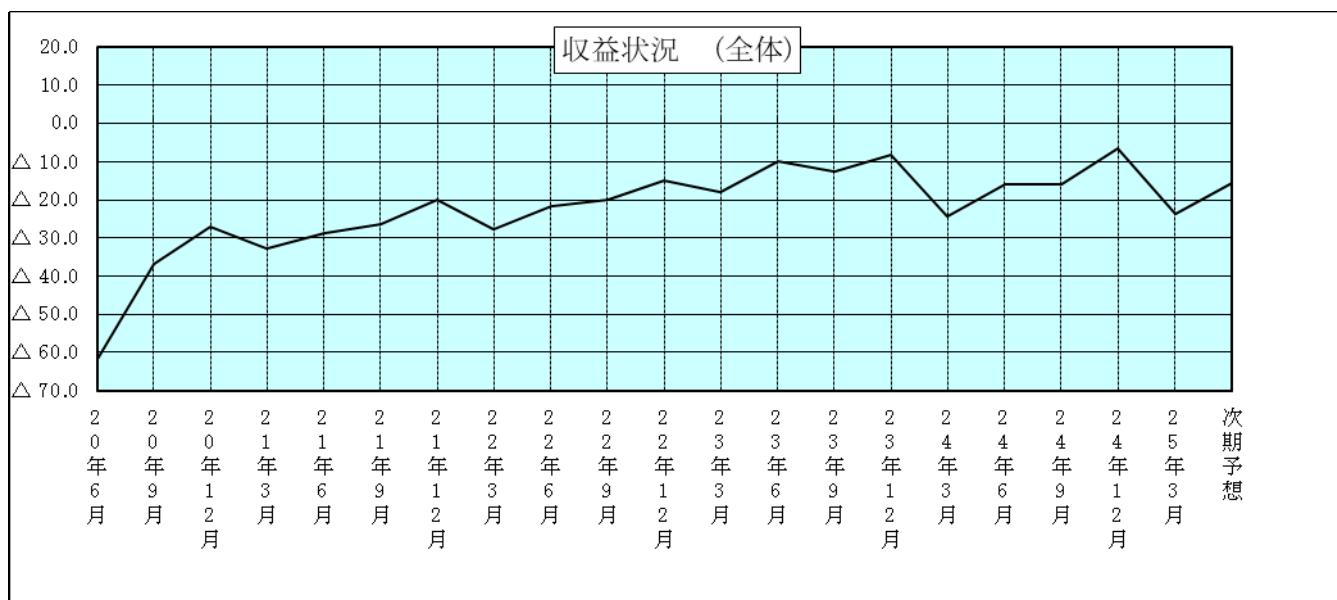
次回予想 D I は 8.1 ポイント増加の△15.5 と改善する見通しである。

収 益 状 況 の 推 移

調査時点	変動	増 加 A	変らず B	減 少 C	D I (A-C)
2024年	1~3月	10.4	55.0	34.6	△ 24.2
2024年	4~6月	11.4	61.1	27.5	△ 16.1
2024年	7~9月	10.1	63.8	26.1	△ 16.0
2024年	10~12月	17.4	58.6	24.0	△ 6.6
2025年	1~3月	11.4	53.6	35.0	△ 23.6
	前回調査比	△ 6.0	△ 5.0	11.0	△ 17.0
見通し	4~6月	10.9	62.7	26.4	△ 15.5
	今回調査比	△ 0.5	9.1	△ 8.6	8.1

業種別収益状況(2025年1月～3月)

業種	変動	増 加 A	変らず B	減 少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		10.9	49.5	39.6	△ 28.7	6.8	△ 13.9
卸売業		2.9	60.0	37.1	△ 34.2	△ 17.2	△ 20.0
小売業		11.1	43.3	45.6	△ 34.5	△ 23.6	△ 21.1
サービス業		18.5	55.3	26.2	△ 7.7	7.8	△ 7.7
建設業		9.5	66.2	24.3	△ 14.8	△ 9.5	△ 16.2
不動産業		13.8	55.2	31.0	△ 17.2	△ 10.7	△ 13.8
全体		11.4	53.6	35.0	△ 23.6	△ 6.6	△ 15.5



4. 在庫・販売価格・資金繰り状況

○在庫

在庫状況は、前回調査に比べ、「不足」とする企業が 0.4 ポイント増加し、「過剰」とする企業が 0.4 ポイント増加したことから、D I は ±0.0 ポイントの△0.3 で前回と変化なしとなった。

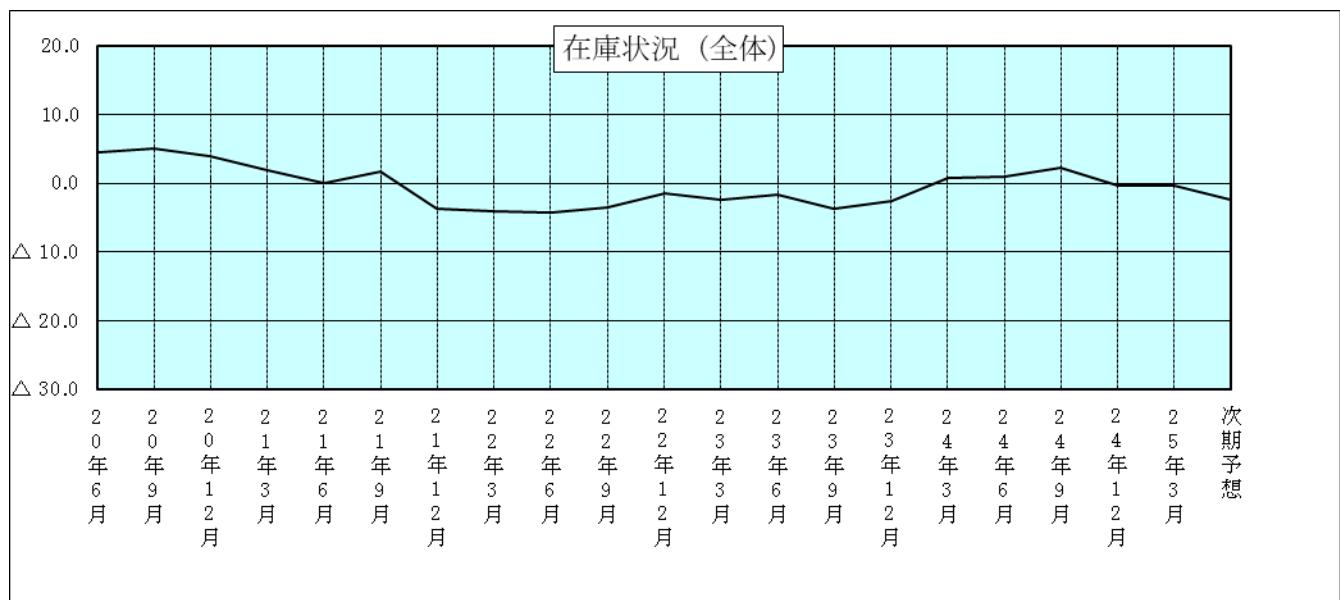
次回予想D Iは、2.1 ポイント減少の△2.4となる見通しである。

在庫状況の推移

調査時点	変動	過剰	適正	不足	DI (A-C)
	A	B	C		
2024年	1~3月	7.2	86.5	6.3	0.9
2024年	4~6月	7.9	85.2	6.9	1.0
2024年	7~9月	7.5	87.4	5.1	2.4
2024年	10~12月	6.6	86.5	6.9	△ 0.3
2025年	1~3月	7.0	85.7	7.3	△ 0.3
	前回調査比	0.4	△ 0.8	0.4	0.0
見通し	4~6月	4.0	89.6	6.4	△ 2.4
	今回調査比	△ 3.0	3.9	△ 0.9	△ 2.1

業種別在庫状況(2025年1月～3月)

業種	変動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		10.9	82.2	6.9	4.0	0.0	1.0
卸売業		11.4	74.3	14.3	△ 2.9	△ 2.8	△ 8.5
小売業		7.8	85.5	6.7	1.1	2.1	△ 3.4
建設業		1.4	97.2	1.4	0.0	1.4	1.4
不動産業		0.0	82.8	17.2	△ 17.2	△ 10.7	△ 13.8
全 体		7.0	85.7	7.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 2.4



○販売価格

販売価格は、前回調査に比べ、「下降した」とする企業が 1.0 ポイント減少し、「上昇した」とする企業が 0.5 ポイント増加したことから、D I は 1.5 ポイント増加の 15.4 と改善した。

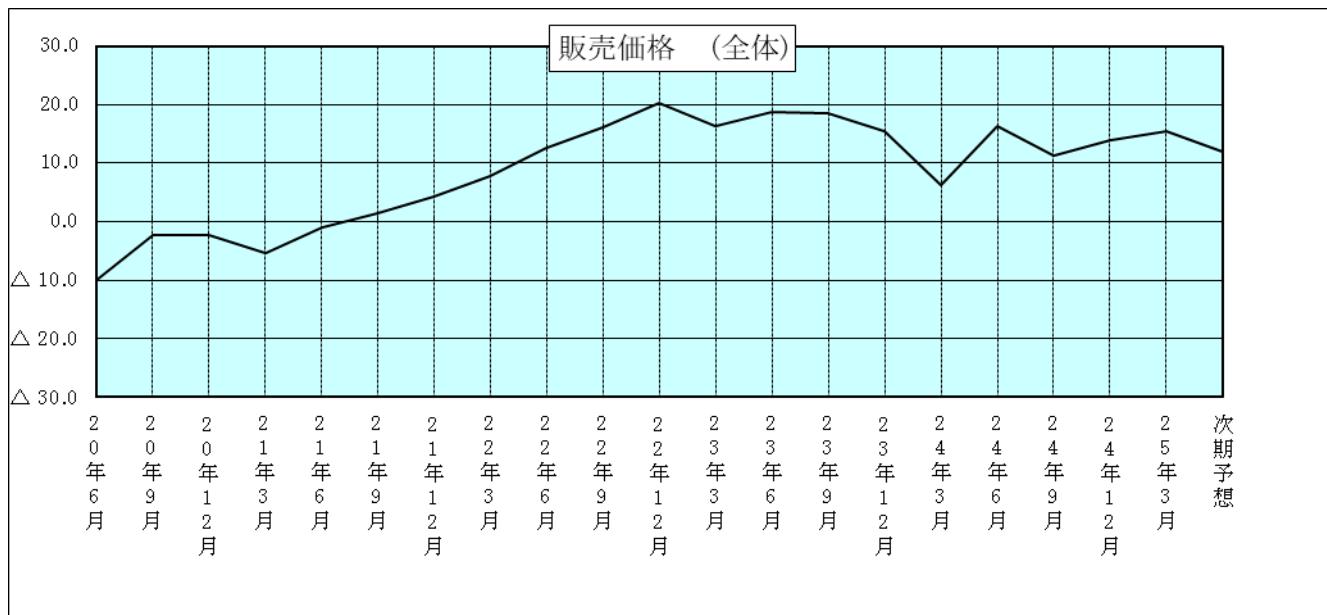
次回予想 D I は、3.4 ポイント減少の 12.0 と悪化する見通しである。

販 売 価 格 の 推 移

調査時点	変動	上昇 A	変らず B	下降 C	D I (A-C)
2024年	1~3月	14.5	77.3	8.2	6.3
2024年	4~6月	21.0	74.2	4.8	16.2
2024年	7~9月	17.6	76.1	6.3	11.3
2024年	10~12月	19.7	74.5	5.8	13.9
2025年	1~3月	20.2	75.0	4.8	15.4
	前回調査比	0.5	0.5	△ 1.0	1.5
見通し	4~6月	16.8	78.4	4.8	12.0
	今回調査比	△ 3.4	3.4	0.0	△ 3.4

業種別販売価格状況(2025年1月～3月)

業種	変動	上昇 A	変らず B	下降 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		17.0	79.0	4.0	13.0	18.5	14.0
卸売業		25.7	68.6	5.7	20.0	28.5	22.8
小売業		26.7	65.5	7.8	18.9	12.9	10.0
サービス業		26.2	72.3	1.5	24.7	15.6	9.2
建設業		13.7	82.2	4.1	9.6	7.0	13.7
不動産業		6.9	86.2	6.9	0.0	△ 3.6	0.0
全体		20.2	75.0	4.8	15.4	13.9	12.0



○資金繰り状況

資金繰り状況は、前回調査に比べ、「楽」とした企業は 1.0 ポイント減少、「苦しい」とした企業が 3.6 ポイント増加したことから、D I は 4.6 ポイント減少し△12.7 と悪化した。

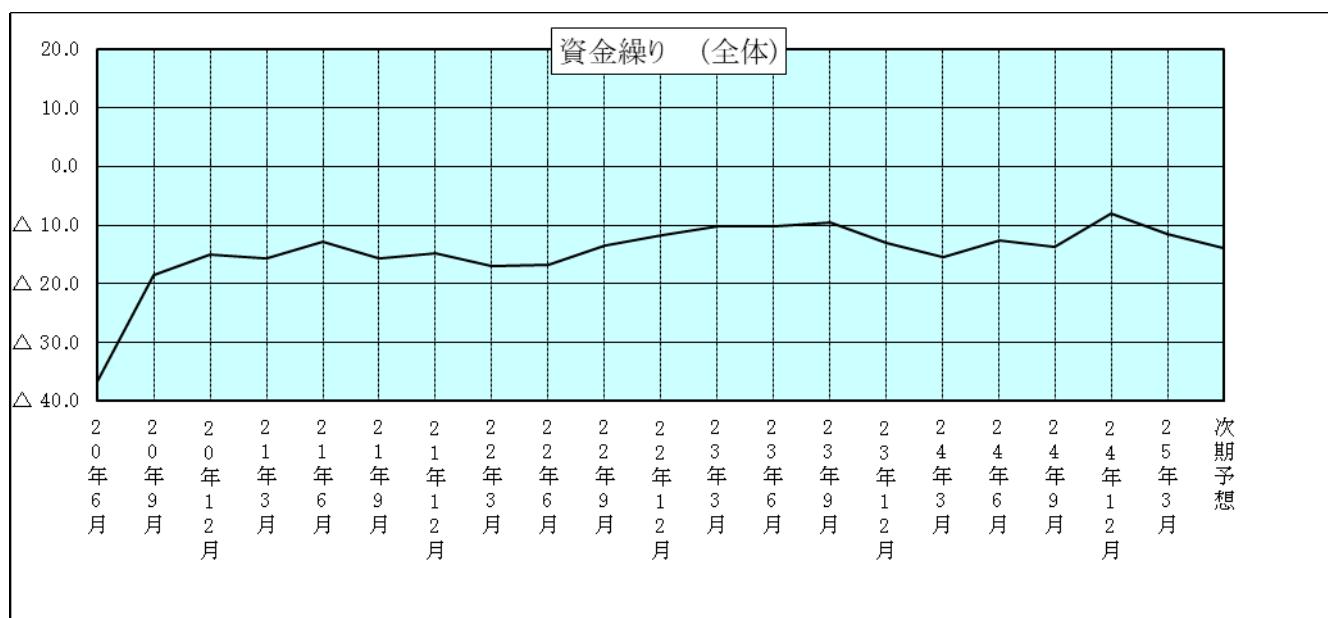
次回予想 D I は、1.5 ポイント減少の△13.9 と悪化する見通しである。

資金繰り状況の推移

調査時点	変動	楽 A	変らず B	苦しい C	D I (A-C)
2024年	1~3月	3.6	77.3	19.1	△ 15.5
2024年	4~6月	3.8	79.7	16.5	△ 12.7
2024年	7~9月	3.0	80.4	16.6	△ 13.6
2024年	10~12月	4.8	82.3	12.9	△ 8.1
2025年	1~3月	3.8	79.7	16.5	△ 12.7
前回調査比		△ 1.0	△ 2.6	3.6	△ 4.6
見通し	4~6月	2.8	80.2	17.0	△ 13.9
今回調査比		△ 1.0	0.5	0.5	△ 1.5

業種別資金繰り状況(2025年1月~3月)

業種	変動	楽 A	変らず B	苦しい C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		5.0	74.2	20.8	△ 15.8	2.9	△ 16.8
卸売業		2.9	77.1	20.0	△ 17.1	△ 11.4	△ 11.4
小売業		4.4	70.0	25.6	△ 21.2	△ 16.1	△ 16.7
サービス業		3.1	86.1	10.8	△ 7.7	△ 7.8	△ 15.4
建設業		2.7	87.8	9.5	△ 6.8	△ 12.4	△ 10.8
不動産業		3.4	96.6	0.0	3.4	△ 7.1	△ 6.9
全体		3.8	79.7	16.5	△ 12.7	△ 8.1	△ 14.2



5. 雇用面の動き

○残業時間

残業時間の状況は、前回調査に比べ、「増加した」とする企業が 0.7 ポイント減少し、「減少した」とする企業が 5.7 ポイント増加したことから、D I は 6.4 ポイント減少の△7.4 となった。

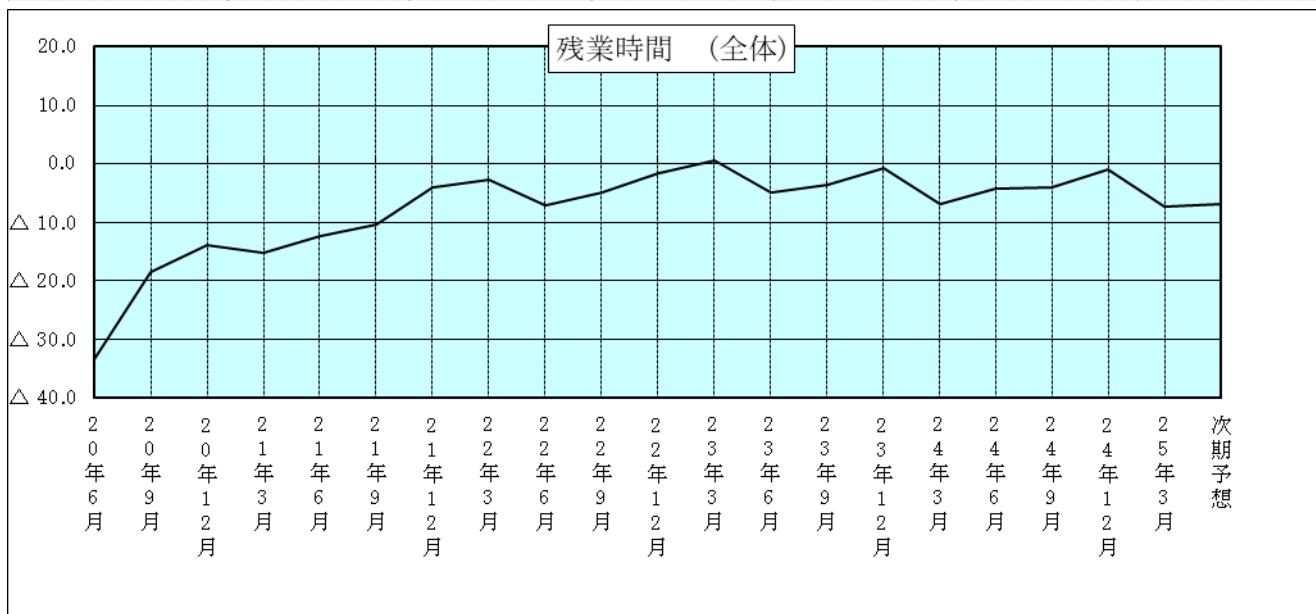
次回予想 D I は、0.5 ポイント増加の△6.9 となる見通しである。

残業時間状況の推移

調査時点	変動	増加 A	変らず B	減少 C	D I (A-C)
2024年	1~3月	3.6	86.0	10.4	△ 6.8
2024年	4~6月	6.6	82.5	10.9	△ 4.3
2024年	7~9月	4.5	86.9	8.6	△ 4.1
2024年	10~12月	6.3	86.4	7.3	△ 1.0
2025年	1~3月	5.6	81.4	13.0	△ 7.4
	前回調査比	△ 0.7	△ 5.0	5.7	△ 6.4
見通し	4~6月	3.3	86.5	10.2	△ 6.9
	今回調査比	△ 2.3	5.1	△ 2.8	0.5

業種別残業時間状況(2025年1月~3月)

業種	変動	増加 A	変らず B	減少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		4.0	78.2	17.8	△ 13.8	△ 4.0	△ 11.9
卸売業		2.9	85.3	11.8	△ 8.9	△ 2.8	△ 11.8
小売業		6.7	78.7	14.6	△ 7.9	△ 4.3	△ 10.2
サービス業		10.8	76.9	12.3	△ 1.5	3.1	0.0
建設業		4.1	89.1	6.8	△ 2.7	1.3	△ 1.4
不動産業		3.4	86.3	10.3	△ 6.9	7.1	△ 3.4
全 体		5.6	81.4	13.0	△ 7.4	△ 1.0	△ 6.9



○人 手

人手の状況は、前回調査と比べ、「不足」とする企業が 2.3 ポイント減少し、「過剰」とした企業が 1.0 ポイント増加したことから、D I は全体で 3.3 ポイント増加の△18.2 となった。

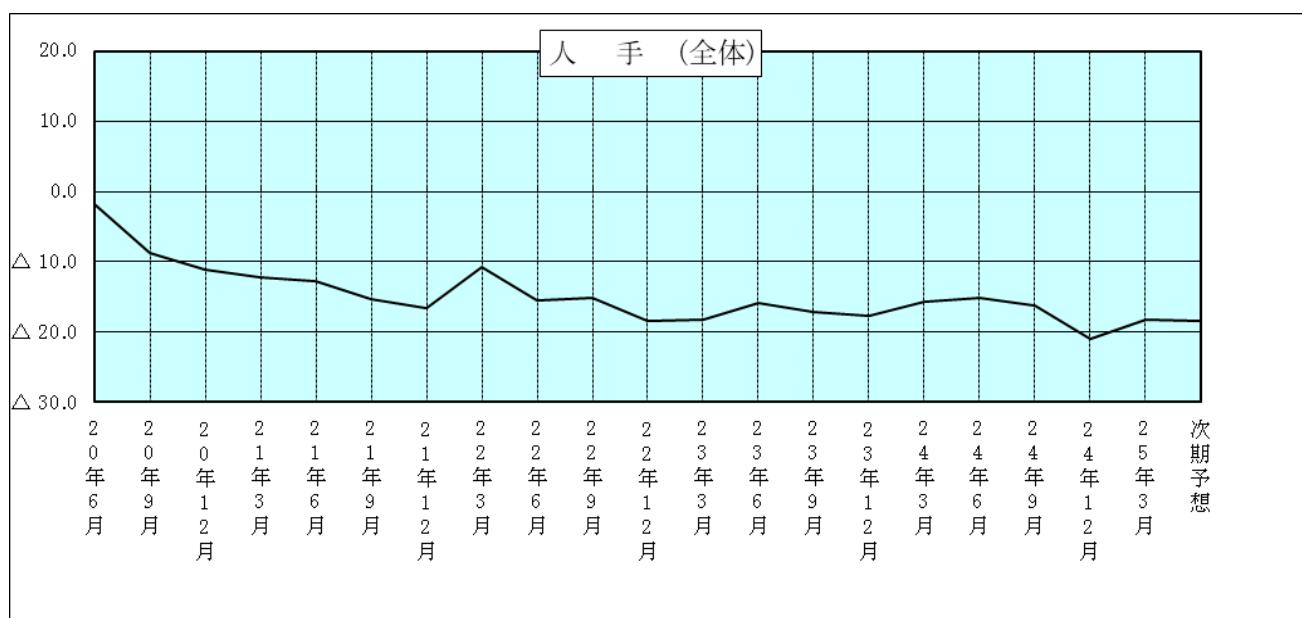
次回予想 D I は、全体で 0.2 ポイント減少の△18.4 となる見通しである。

人 手 の 状 況 推 移

調査時点	変動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)
2024年	1~3月	3.9	76.5	19.6	△ 15.7
2024年	4~6月	2.8	79.3	17.9	△ 15.1
2024年	7~9月	1.5	80.8	17.7	△ 16.2
2024年	10~12月	1.3	75.9	22.8	△ 21.5
2025年	1~3月	2.3	77.2	20.5	△ 18.2
前回調査比		1.0	1.3	△ 2.3	3.3
見通し	4~6月	1.8	78.0	20.2	△ 18.4
今回調査比		△ 0.5	0.8	△ 0.3	△ 0.2

業種別人手状況(2025年1月～3月)

業種	変動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		5.0	74.2	20.8	△ 15.8	△ 22.6	△ 16.8
卸売業		0.0	79.4	20.6	△ 20.6	△ 22.9	△ 17.7
小売業		1.1	84.3	14.6	△ 13.5	△ 11.8	△ 14.6
サービス業		1.5	70.8	27.7	△ 26.2	△ 25.0	△ 27.7
建設業		2.7	74.0	23.3	△ 20.6	△ 31.5	△ 19.2
不動産業		0.0	86.2	13.8	△ 13.8	△ 14.3	△ 13.8
全 体		2.3	77.2	20.5	△ 18.2	△ 21.5	△ 18.4



6. 経営上の 問題点・当面の重点経営施策

経営上の問題点では、複数の業種で「売上の停滞・減少」「同業者間の競争の激化」が1位、2位を占めたが、建設業で「人手不足」、製造業で「原材料高」が2位となった。

当面の重点経営施策では、多くの業種で「経費を節減する」と「販路を広げる」が1位と2位を占めたが、建設業で「人材を確保する」、小売業で「品揃えを改善する」が2位となった。

経 営 上 の 問 題 点 (複数回答 単位:%)

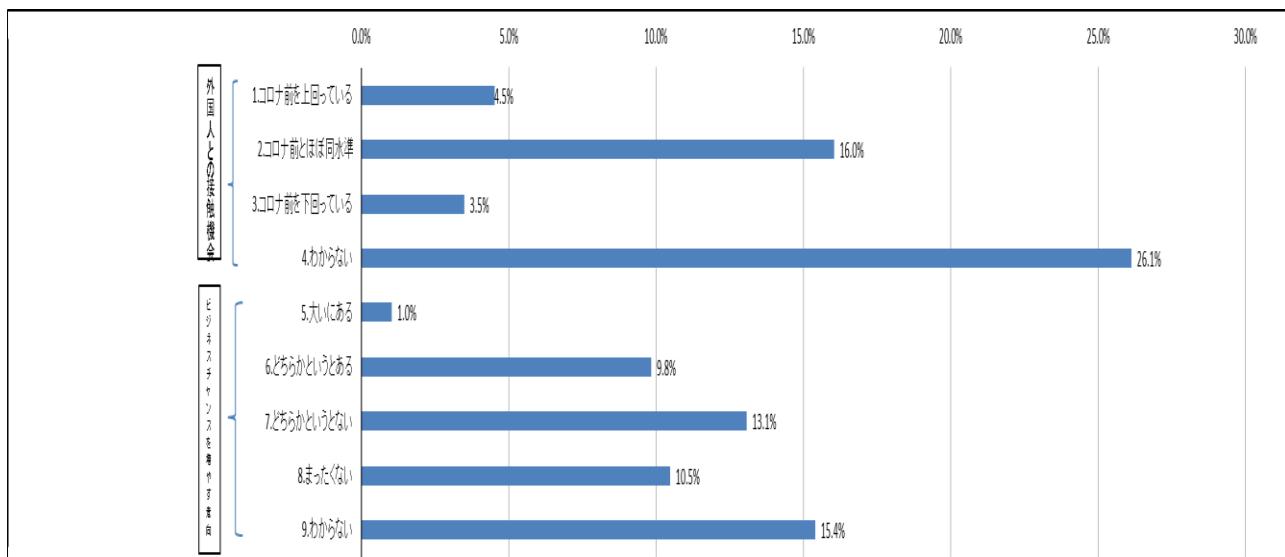
業種	1位		2位		3位		4位	
製造業	売上の停滞・減少	37.3	原材料高	29.4	人手不足	25.5	人件費の増加	19.6
卸売業	売上の停滞・減少	34.3	同業者間の競争の激化	31.4	仕入先からの値上げ要請	25.7	人手不足	20.0
小売業	売上の停滞・減少	37.5	同業者間の競争の激化	21.6	仕入先からの値上げ要請	20.5	人手不足	13.6
サービス業	人手不足	23.4	売上の停滞・減少	21.9	人件費の増加	20.3	同業者間の競争の激化	18.8
建設業	材料価格の上昇	33.8	人手不足	32.4	売上の停滞・減少	31.1	同業者間の競争の激化	24.3
不動産業	同業者間の競争の激化	41.4	問題なし	27.6	利幅の縮小	24.1	商品物件の高騰	20.7

当 面 の 重 点 経 営 施 策 (複数回答 単位:%)

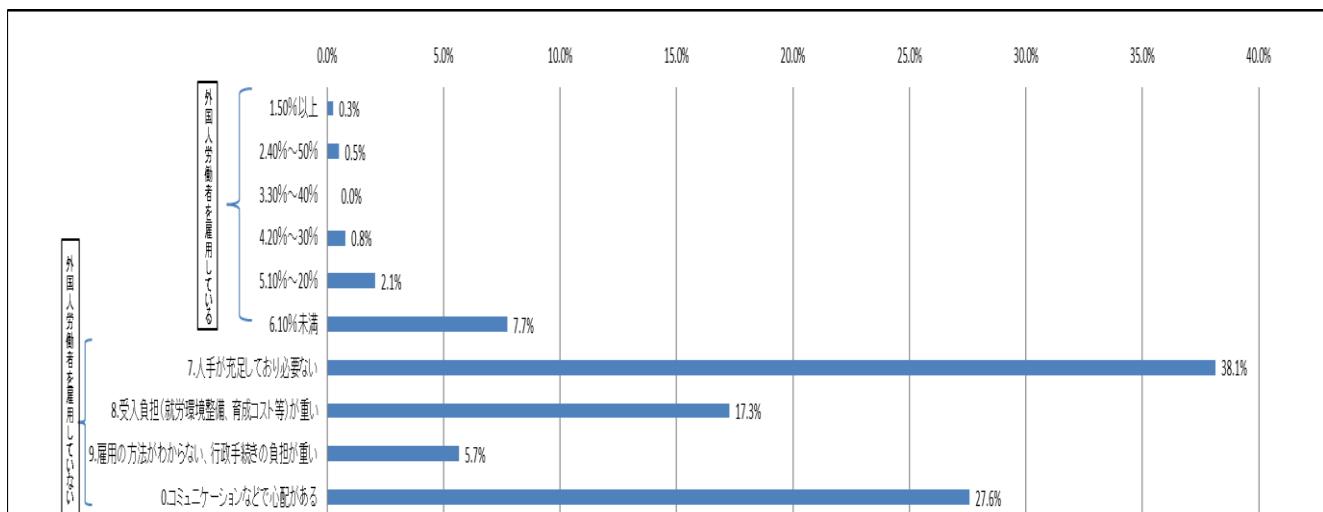
業種	1位		2位		3位		4位	
製造業	経費を節減する	50.5	販路を広げる	43.6	人材を確保する	22.8	新製品・技術を開発する	15.8
卸売業	販路を広げる	54.3	経費を節減する	45.7	機械化を推進する	22.9	情報力を強化する	20.0
小売業	経費を節減する	46.1	品揃えを改善する	23.6	特になし	21.3	宣伝・広告を強化する	14.6
サービス業	販路を広げる	43.1	経費を節減する	33.8	人材を確保する	27.7	特になし	13.8
建設業	経費を節減する	51.4	人材を確保する	34.7	販路を広げる	31.9	技術力を高める	25.0
不動産業	販路を広げる	44.8	経費を節減する	37.9	宣伝・広告を強化する	34.5	情報力を強化する	27.6
							特になし	

外国人・海外情勢と中小企業

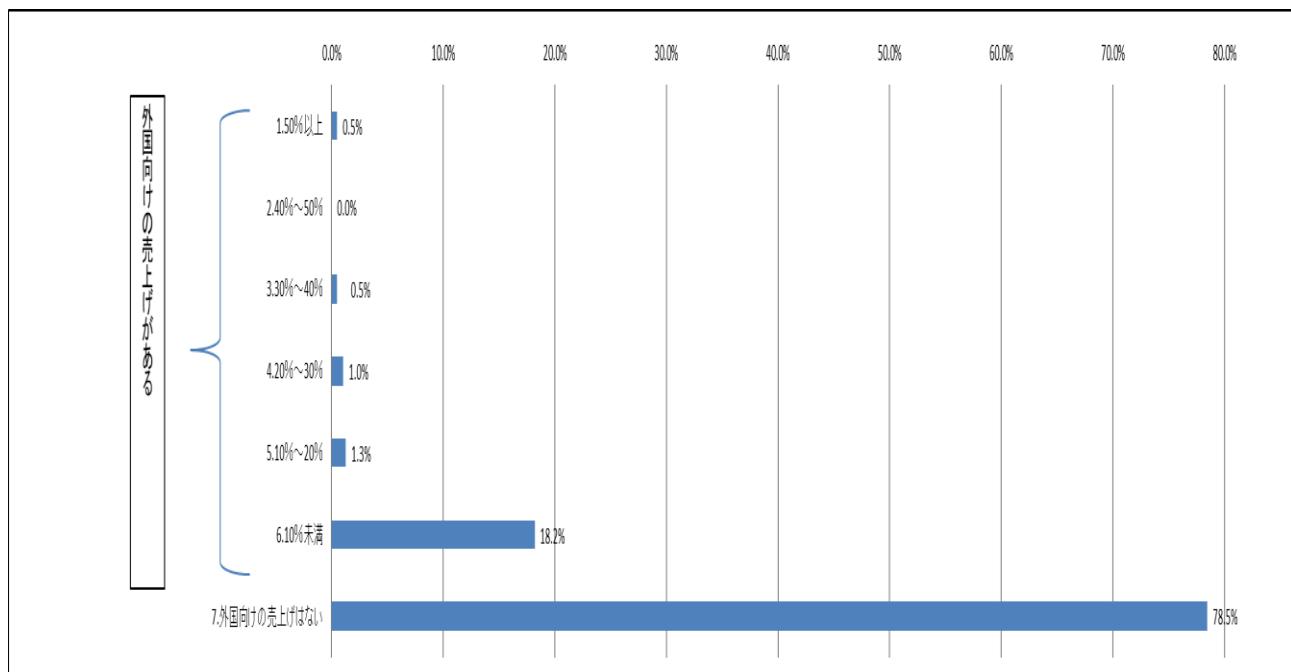
問 1. 昨今貴社を取り巻く事業環境や地域社会の中で、外国の方と接触する機会がコロナ前の水準に戻っているという実感はありますか。あてはまるものを 1 から 4 の中から 1 つ選んでお答えください。また、外国とのかかわりの中で今後ビジネスチャンスを増やしたいという意向はありますか。5 から 9 の中から 1 つ選んでお答えください。



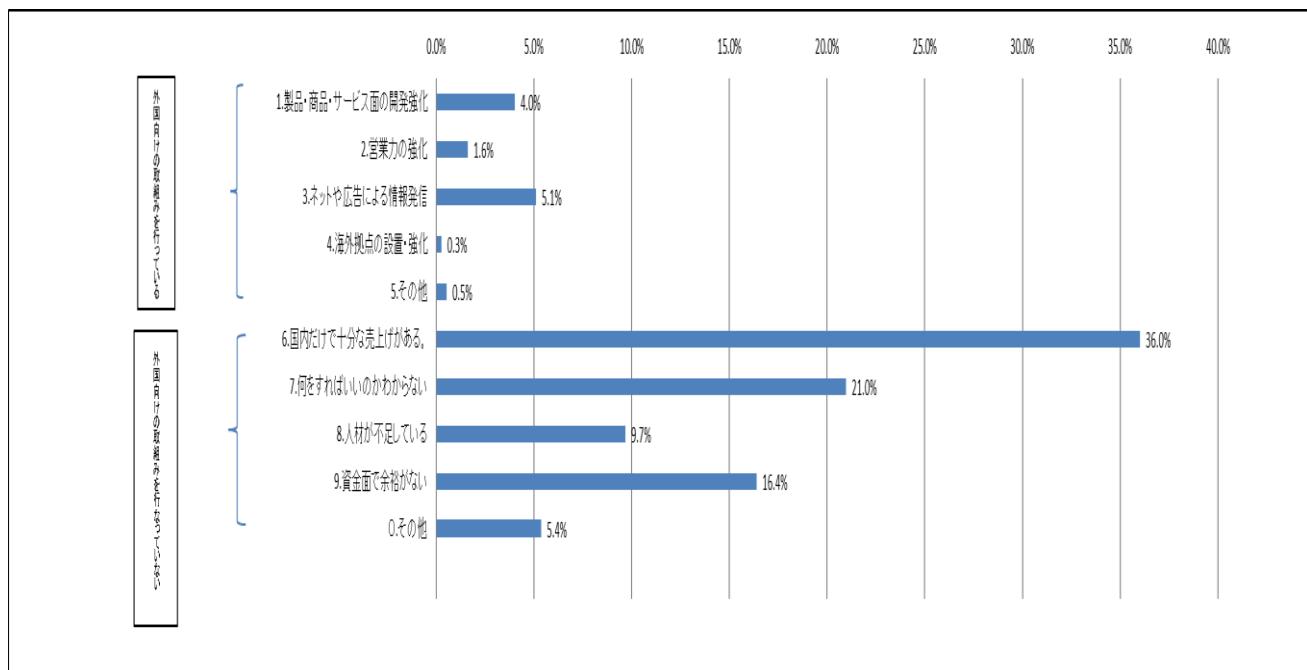
問 2. 貴社では、外国人労働者を雇用していますか。雇用している場合は、従業員全体に占める外国人労働者の割合を 1 から 6 の中から 1 つ選んでお答えください。また、雇用していない場合は、外国人労働者を雇用していない理由を 7 から 0 の中から 1 つ選んでお答えください。



問 3. 貴社では、売上全体に占める外国人(旅行客を含む)、もしくは外国人企業向けの売上げ(輸出を含む)はどれぐらいですか。あてはまるものを 1 から 6 の中から1つ選んでお答えください。売上がない場合は 7 を選択してください。

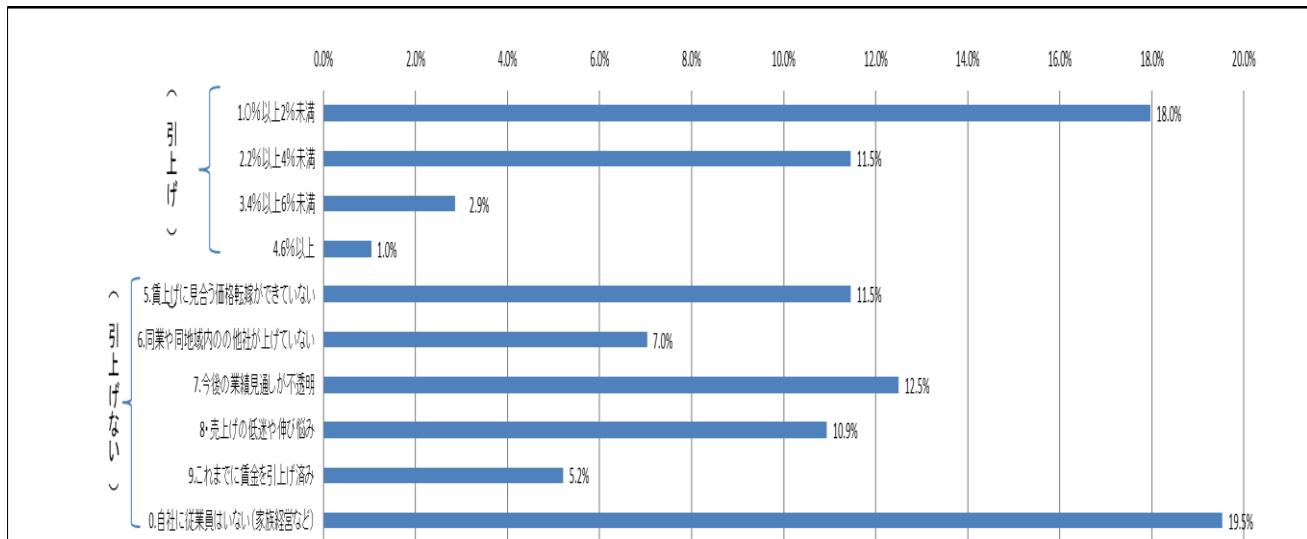


問 4. 貴社では、外国向けの売上げを増加させるための取組みを行っていますか。行っている企業は、特に行っている取組みについて 1 から 5 の中から1つ選んでお答えください。行っていない企業は、行っていない理由について 6 から 0 の中から1つ選んでお答えください。



問 5 【特別設問】

貴社では、人材定着などに向けて、2025 年度中に賃金(定期昇給分除く、賞与や一時金除く)の引上げを実施(実施予定を含む)しますか。引上げる場合はその賃金引上げ率について 1 から 4 の中から1つ選んでお答えください。また、引上げない場合は引上げなかった理由について 5 から 0 の中から1つ選んでお答えください。



外国人・海外情勢と中小企業のまとめ
(景気動向調査の有効回答先から調査したものです)

1. 事業環境や地域社会の中で、「外国人の方と接触する機会がコロナ前の水準に戻っているという実感はありますか」の質問については「わからない」という回答が 26.1%と最も多く、「コロナ前とほぼ同水準」という回答が 16.0%と続いた。「ビジネスチャンスを増やす意向」の質問については「わからない」という回答が 15.4%「どちらかというとない」という回答が 13.1%と続いた。
2. 「外国人労働者を雇用していますか」の質問については「10%未満」という回答が 7.7%と最も多く、「10~20%未満」という回答が 2.1%と続いた。「外国人労働者を雇用していない」理由については「人手が充足しており必要ない」という回答が 38.1%と最も多く、「コミュニケーションなどで心配がある」という回答が 27.6%と続いた。
3. 「売上全体に占める外国人(旅行客を含む)もしくは外国企業向けの売上げ(輸出を含む)はどれぐらいですか」の質問については「10%未満」という回答が 18.2%と最も多く、「10%~20%」という回答が 1.3%と続いたが、「外国向けの売上げはない」という回答は 78.5%あった。
4. 「外国向けの売上げを増加させるための取組みを行っていますか」の質問については「ネットや広告による情報発信」という回答が 5.1%と最も多く、「製品・商品・サービス面の開発強化」という回答が 4.0%と続いた。「取組みを行っていない」理由については「国内だけで十分な売上げがある」という回答が 36.0%と最も多く、「何をすればいいのかわからない」という回答が 21.0%と続いた。
5. 【特別設問】
「人材定着に向けて、2025 年度中に賃金の引上げを実施しますか」の質問については「0%以上 2%未満」という回答が 18.0%と最も多く、「2%以上 4%未満」という回答が 11.5%と続いた。
「引上げない」理由については「自社に従業員はいない(家族経営など)」という回答が 19.5%、「今後の業績見通しが不透明」という回答が 12.5%と続いた。